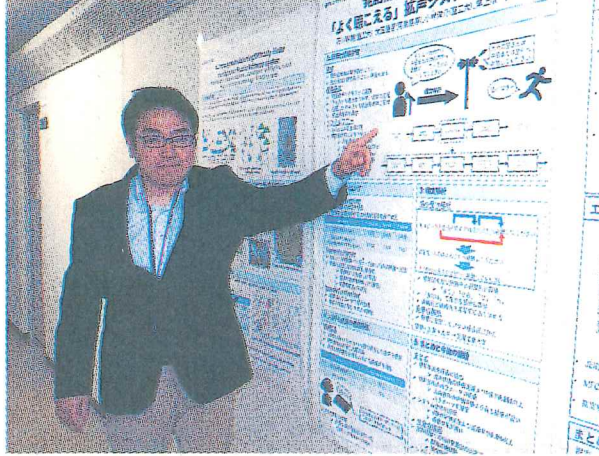


矢崎科学技術振興記念財団の奨励研究助成

室工大・小林助教選ばれる



ポスターを示しながら研究内容を説明する小林助教

公益財団法人・矢崎科学技術振興記念財団（細川興一理事長）の奨励研究助成（情報分野）に、室蘭工業大学大学院工学研究科くみ情報系領域の小林洋介助教の研究が選ばれた。聞き取りにくい音声

を鮮明にする研究内容が評価された。信号処理と人工知能（AI）を使う。拡声器や間投詞が入ったりして聞き取りにくい音声をマイクで受け取り、自動的にアナウンサーなどが話したような音声を近づける。また、音響の

プロが調整したように自動的に生成し、聞きやすい音声に変換するシステムの構築を進めている。課題は音声認識がうまくいかず、AIが言葉の意味の解釈をできない点。これらの点を克服し、実用化できれば災害時の放送などを聞き取りやすくできるなど、防災面で応用できるといふ。また、駅や空港、学校など公的な施設でも活用が期待される。

小林助教は「現在は部品単位でしか動かないが、リアルタイムに作動するように、今年中にシステムを構築したい」と意気込んでいる。同助成は1983年（昭和58年）から科学技術のため「新材料」「エネルギー」「情報」の3分野で研究を支援している。「奨励研究助成」は若手研究者が対象で53件の応募があった。（池田勇人）